

児童発達支援 放課後等デイサービス

支援プログラム

一般社団法人 C I S

(序文)

一般社団法人 C I S ではお子様の自立に必要な5領域についての総合的な支援を目的に児童発達支援及び放課後等デイサービスの運営を行います。

(運営基準)

一般社団法人 C I S ではお子様一人ひとりの特性や発達に合わせ、地域社会でそれぞれにあった自立を目指すため児童発達支援・放課後等デイサービス共にプログラムの基本として

- 健康・生活
- 運動・感覚
- 認知・行動
- 言語・コミュニケーション
- 人間関係・社会性

の5領域の支援に加え、学童期、思春期の放課後等デイサービスにおいては

- 自己肯定感や達成感
- 仲間の形成
- 孤立の防止

を個別支援計画に盛り込んだ支援を提供していきます。

支援プログラム

放課後等デイサービス編

総合的な支援方針

利用者のニーズに応えるために、必要とされる幅広い療育や、専門性の高い療育を心掛ける一方で、根本にあるのはたくさんの課題に追われるお子様たちがその子たちらしく日々の生活を楽しめる施設を作ることです。「やらなければならない」療育ではなく何気ない日常の中でお子様一人一人に必要な支援を見つけ、日々を生きやすく導き、自分の生を存分に楽しむ手助けを行っていきます。

そのためには指導員一人一人の高い志と能力が求められると考えています。日ごろから本人や家族と密接な関係を保ち、あらゆる知識で悩みに応え、適切な方向性を示すことができる情報とノウハウを蓄積すること、必要に応じて地域、行政、学校、医療などとの連携を心掛けています。

豊かな経験を持つ児童指導員の他、各種療法士・保育士・教員免許取得者など、より専門性の高い指導員がその知識を活かし、協力することで5領域についてバランスの良いプログラムを提供していきます。

■ 具体的プログラム内容

【平日のプログラム】

入所後、うがい手洗いや荷物の整理を通して周辺を清潔に保ち、身の回りを整える力を身につけます。(健康・生活)

学校の宿題を中心にご家庭と連携しながら言葉や数の概念など今後の生活に必要な学習的能力を身につけます。お子様によっては宿題をする時間などのスケジュールを指導員と相談して決めて取り組みます。(認知・行動・言語)

おやつでは集団でのルールやマナーを学び、みんなで食べる楽しみを味わいます。(生活・社会性)

余暇・自由遊びではボードゲームやカードゲーム。療育おもちゃを使った遊びや感覚遊び、工作など多種多様に取り組める環境で、個別、小集団で好きなことに参加します。また、近くの公園に遊びに行くこともあります。(健康・運動・感覚・認知・行動・言語・コミュニケーション)

【休日のプログラム】

入所後、うがい手洗いや荷物の整理を通して周辺を清潔に保ち、身の回りを整える力を身につけます。(健康・生活)

長時間のお預かりを活かし、月に3～4回のイベントを実施しています。

- ・調理 (健康・生活・認知・行動・言語)

過去の例：恵方巻き作り、柏餅作り、魚を捌いて食べよう

- ・運動、外遊び (健康・運動・認知・行動・社会性・コミュニケーション)

過去の例：フットサル、公園遊び、水遊び、運動会

- ・工作 (感覚・認知・行動・言語・達成感)

過去の例：陶芸、カレンダー作り、時計作り、染め物

- ・その他 (健康・生活・感覚・認知・社会性・達成感・仲間の形成)

過去の例：火起こし体験、性教育、演劇発表、音楽会

また、毎週日曜日の鷺ノ宮校では個別療育や小集団を基本とした言葉の教室、体の教室、運動教室、就労に向けた作業クラスをOT・PT・STを含めた専門の知識や経験豊富な指導員が専門的な療育を行なっています。

近隣の児童館と合同で、ボッチャ大会やモルック大会を開催したり、児童館イベントに参加し、安心できる環境で地域とつながっています。(孤立の防止・人間関係・社会性)

【全てのお預かりを通して】

平日、休日ともにお子様の主体性を大切に、それぞれが好きな遊びに思う存分没頭できる環境を整えています。

空間と時間を構造化してスケジュールを理解しやすくし、落ち着いて自主的な行動を増やし、見通しを立てるために絵や写真のカードを使った視覚支援によって不安を取り除くことをしています。

聴覚や触覚などの感覚過敏を持つお子さんの特性に配慮しながらそれぞれに合った、感覚を育てる遊びを取り入れています。(認知)

年齢差のある集団内では、お世話したり、されたりの関係性から、自然発生的に行動や言語のモデリングが行われたり、リーダーシップや自己肯定感を育てる関わりができています。(社会性)

毎日のおやつや休日の昼食では、食べ方に補助が必要なお子様には食べやすく綺麗に食べるための環境を整えたり姿勢の指導や見守り支援を行い、ご家庭には使いやすいお箸や道具のアドバイスも行っています。(生活)

【専門的支援（実施）】

① 体の教室、言葉の教室、運動教室、調理クラス、作業クラスではそれぞれの課題について個別もしくは小集団で専門性の高い療育支援を行なっております。

② ご家庭や学校生活など現在の生活の中での困りごと、伸ばしたい事柄について、各種療法士などの資格を持った指導員が専門的な見地から具体的個別指導や面談などの支援をいたします。

※専門的支援は通常のお預かりの遊びの中でも場面に応じて行ない、専門的支援（実施）加算の対象となります。

③ 学校生活や受験などで合理的配慮を希望する場合や日常生活での困りごとの原因を分析したい場合など、専門的知識を持った指導員が各種検査をいたします。

※契約日とは別の日にちでの予約制となっております。実施日とフィードバック各1日、保護者様とお子様に参加していただきます。

<検査できる項目と概要>

評価名	評価の目的	対象	所要時間
DEM (眼球運動発達テスト)	音読や読みなどに必要な 「どれくらい素早く視線を動かせるか」を評価する	小1～成人	5分
WAVES (包括的視覚関連スキル評価)	読み書きやボール遊び、注目するといった様々な活動に必要な 「見る力(視覚関連スキル)」を包括的に評価する	小1～小6	40-70分
ひらがな音読検査	ひらがなの読字スピードや単語・文章の読みなど 「読むこと的能力」を評価する	小1～小6	20-40分
STRAW-R (読み書きスクリーニング検査)	「読み書き全般」を包括的に評価する 試験等での合理的配慮の判断材料となる	小1～高3	30分
Vineland-II 適応行動尺度	子どもが置かれた環境の中で 「どれくらい適応した生活を送れているか」を評価する	0-92歳	20-40分

④ 専門クラス

鷺ノ宮校の日曜日においてより専門性の高いクラスを設けております。

(各クラスは療法士等を配置し、専門的支援(実施)加算の対象となります)

- ・言葉の教室(個別)
- ・体の教室(個別)
- ・運動クラス(小集団)
- ・作業クラス(個別・小集団)
- ・調理クラス(小集団)

(令和6年4月現在)

【自立に向けた支援】

- ① 就労や社会人としての生活を想定したクラス(作業クラス)では学校や障害者就労をおこなっている企業と連携し、就労に必要なマナー、作業、お金の管理などの支援教育を行います。
- ② 性についての教室を開催し、体の変化について、自分の身を守る方法、自分も他人も大切にすること、心身のケアについて学んでいきます。

【家庭支援】

- ① 定期的に進学座談会を実施し、中学や高校の先輩とその保護者から直接学校の様子や進学にあたっての相談ができる機会を設けています。
- ② 施設卒業生の情報を集め、将来の進路や生活のイメージができるよう保護者会や面談を通じてお話ししています。
- ③ 相談支援所、子ども家庭支援センター、児童相談所、福祉事務所などと連携し、お子様本人やご家族に必要なサービスを考えつなげています。
- ④ 学校公開や学校行事に参加し、施設外での様子を把握し、必要に応じて学校生活での支援を行います。
- ⑤ ご家庭内での困りごとがある場合には、ご自宅まで伺って環境調整などの支援を行います。

【移行支援】

就学時期のお子様の中には進級や進学に大きな不安を抱える場合があります。また、運動会や宿泊といった行事にも大きなストレスを抱えるお子様がいます。私たちは日頃から学校公開や運動会などのイベント参観、学校との連携を通し、施設以外のお子様の様子も把握した上でどの環境でも適切な支援が受けられ、地域の中で安心して日常生活を送ることを目指しています。

【特別プログラム】

2018年の演劇発表会「キッズカーニバル」を皮切りに、毎年年末に大きなイベントを開催しています。

2022年まではプロの劇団の協力のもと、地元のダンススクールとのコラボレーションした演劇発表会。2023年は音楽発表会。2024年は作品展覧会と趣向を凝らし、夏頃から準備を始め、保護者や近隣の皆様も観覧できる催しを行なっています。